

第一部

- ・ 学習指導要領の次期改訂にむけて
- ・ 顕在化している課題から、「科目体育」の授業づくりを改めて問い直す【Part I】

令和7年度高等学校教育課程研究員

愛知県立幸田高等学校

愛知県立大府東高等学校

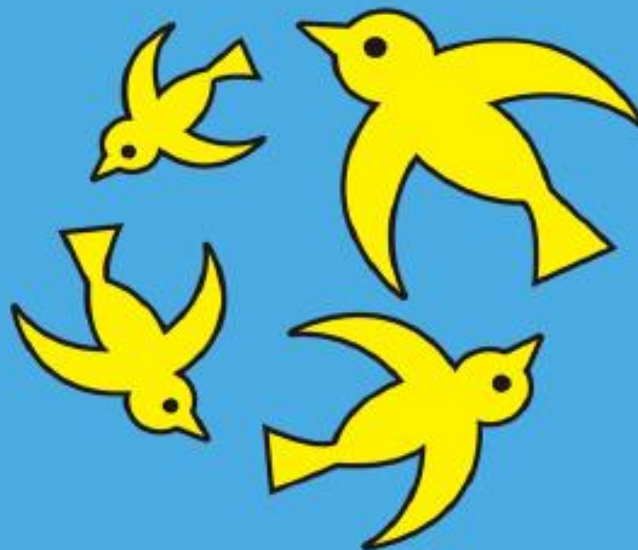
田中 悠也

藤村 亮二

新しい学習指導要領

生きる力

学びの、その先へ



学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

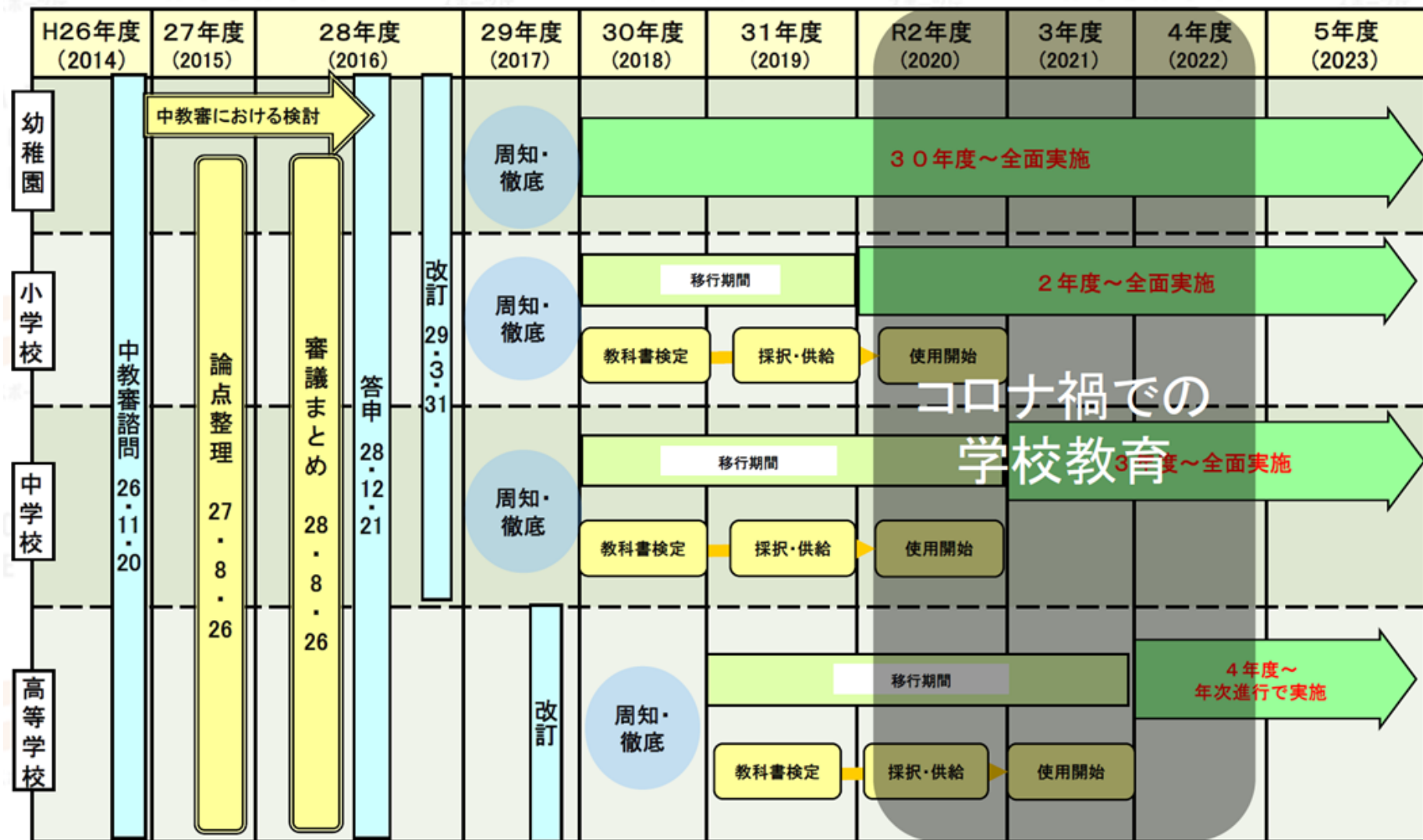
そして、明るい未来を、共に創っていききたい。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

1 次期改訂に向けて



特別支援学校学習指導要領(幼稚園及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。
特別支援学校学習指導要領(高等部)についても、高等学校学習指導要領と一体的に改訂を進める。

1 次期改訂に向けて



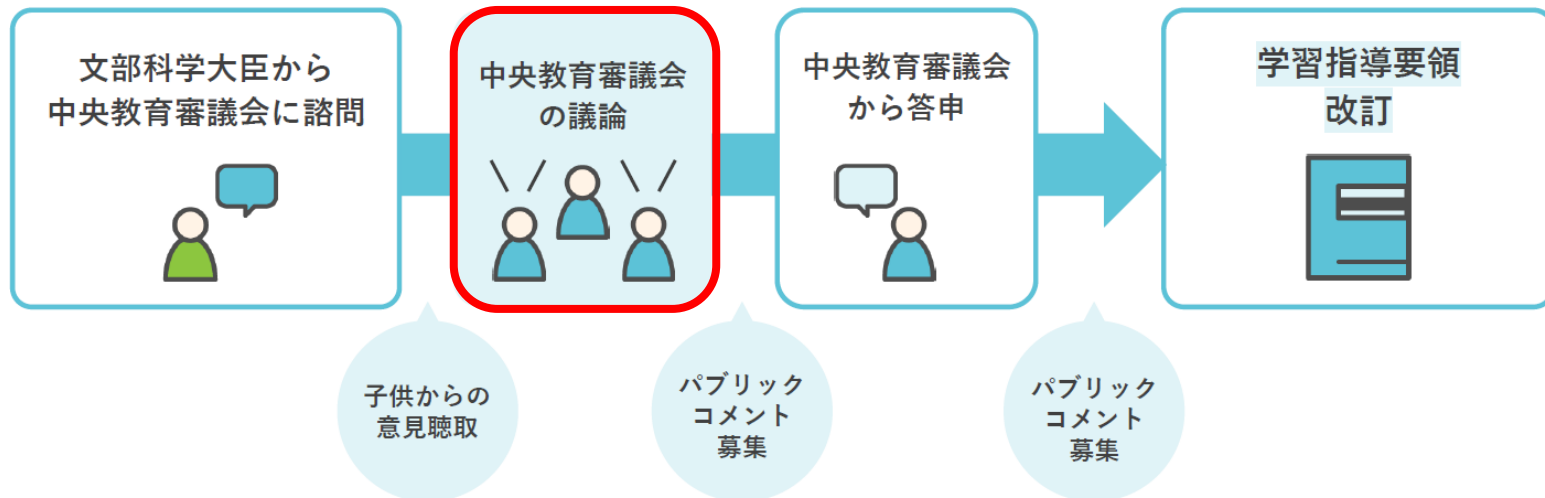
学習指導要領はどのようにして改訂されるのか

学習指導要領の改訂へ向けた議論が開始

令和 6 (2024) 年12月25日の中央教育審議会諮問を受け、学習指導要領の改訂に向けた議論が始まりました。

改訂は約10年ごとに実施され、中央教育審議会での有識者等による議論や、パブリックコメントで一般の方からの意見募集を経て行われます。

学習指導要領改訂の大まかな流れ



1 次期改訂に向けて

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）

- ◆学習指導要領の改訂に向けた議論の「キックオフ」された段階。
- ◆中教審による「答申」は、令和8年度中を想定しており、現時点で改定内容として確定している事項はない。
- ◆しかし、「諮問」の内容は、文部科学省としての現状認識、問題意識、そして中教審にお願いしたい具体の検討事項が示されており、非常に重要な位置付けをもつ。（いわば今後の検討の「地図」であり「メニュー」）
- ◆今後、中教審での議論の内容は教育委員会等からも伝えていただくこととなり、「キックオフ」から議論をフォローし、「先回り」して取り組んでいくことが重要である。

1 次期改訂に向けて

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）

高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)解説

保健体育編 体育編

平成 30 年 7 月

現行の
学習指導要領を
着実に
実施すること

1 次期改訂に向けて

顕在化している課題

- ① 学ぶ意義を見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供が多くなっている
- ② 現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば
- ③ GIGAスクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤の効果的な活用は緒に就いたばかり

2 顕在化している課題①

顕在化している課題

① 学ぶ意義を見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供が多くなっている

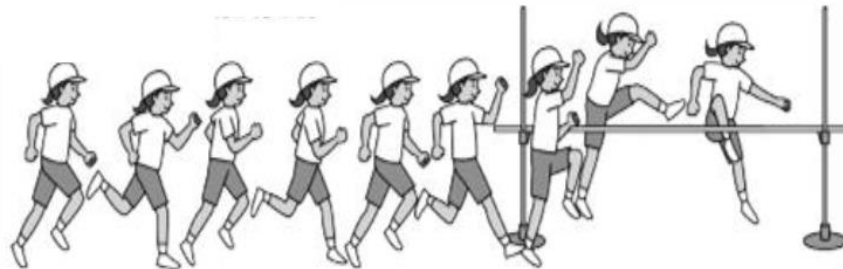
② 現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

③ GIGAスクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤の効果的な活用は緒に就いたばかり

2 顕在化している課題①

体育を学ぶ意義とは？

走り高跳びは必要ですか？



このことを日頃からしっかり考えることが重要

2 顕在化している課題①

主体的に学びに向かうことができない子供の存在

学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供の増加



体育を学ぶ意義や価値を十分に見いだせない

2 顕在化している課題①

主体的に学びに向かうことができない子供の存在

学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供の増加

Q 体育の学習を通して何を育てるのか？

体育の学習を通して、育成を目指す

- (1)「知識及び技能」とは？
- (2)「思考力、判断力、表現力等」とは？
- (3)「学びに向かう力、人間性等」とは？



学習指導要領の「目標」「内容」を正しく理解して授業を
実践し、生徒の資質・能力を確実に育成することが重要

2 顕在化している課題①

目標（科目体育）

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 顕在化している課題①

目標（科目体育）

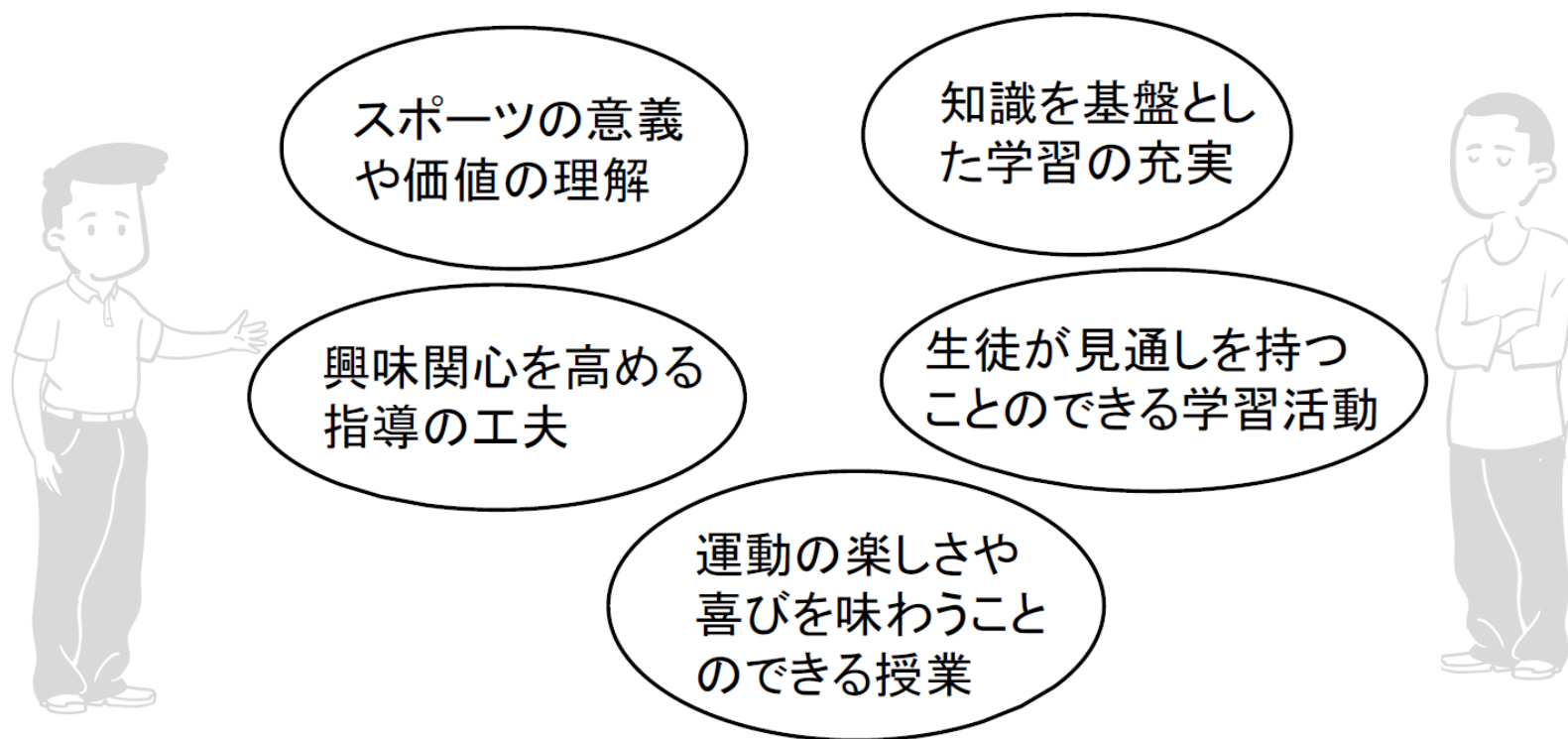
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な実践を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
知識及び技能
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な実践を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
思考力・判断力・表現力等
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、とすの違いを大切にしようを確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
学びに向かう力、人間性等

2 顕在化している課題①

主体的に学びに向かうことができない子供の存在

学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供の増加



2 顕在化している課題①

主体的に学びに向かうことができない子供の存在

◆ 運動の特性を踏まえた授業

運動の楽しさや喜びを深く味わいとは、技能を身に付けたり、作戦を立てたり、作品をまとめたりするなどの学習を通して、仲間と適切な関係を築き、課題の解決を目指して取り組むことにより、一過性の楽しさにとどまらず、**その運動のもつ特性や魅力に深く触れる**ことを示している。

(例) 球技

球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの**能力に応じた作戦を立て**、**集団対集団、個人対個人で勝敗を競う**ことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

2 顕在化している課題①

体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わう
器械運動	技ができる楽しさや喜びを味わう
陸上競技	記録に挑戦したり、相手と競争したりする楽しさや喜びを味わう
水泳	続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わう
球技	勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わう
武道	勝敗を競い合い互いに高め合う楽しさや喜びを味わう
ダンス	仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わう



各領域の運動の楽しさや喜びを味わうことのできる授業

2 顕在化している課題①

主体的に学びに向かうことができない子供の存在

多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題

◆ 共生の視点を重視した授業

運動やスポーツとの多様な関わり方を重視する観点から、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、**運動やスポーツの多様な楽しみ方を卒業後も社会で実践することができるよう、共生の視点を重視して指導内容の充実を図ること。** (解説 改訂の要点)

- ・ 男女共習による体育授業の推進
- ・ 運動が苦手な生徒に対する指導の工夫や配慮
- ・ 障害のある生徒などへの指導の配慮

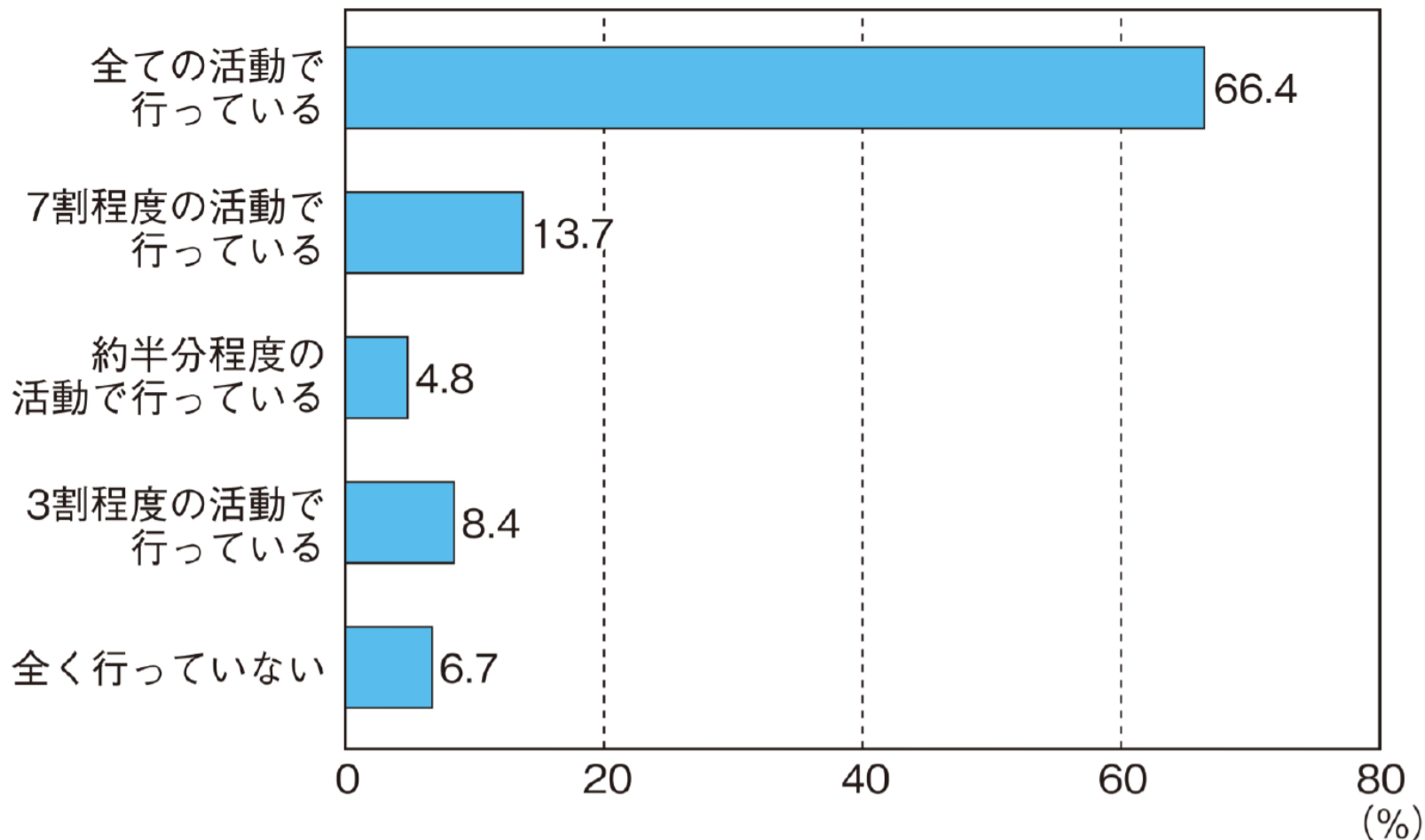
2 顕在化している課題①

体力や技能の程度及び性別の違い等
にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験は、
生涯にわたる豊かなスポーツライフの実
現に向けた重要な学習の機会であること
から、**原則として男女共習**で学習を行う
ことが求められる。

2 顕在化している課題①

保健体育の授業を男女共習で行っていますか。

中学校



2 顕在化している課題①

男女共習ができないと考える理由（例）

- ・ 男子が物足りないと感じる
- ・ 体力や技能に差があって指導が難しい
- ・ 男子が遠慮する、女子が萎縮する
- ・ 接触のある活動ができない

（武道、ゴール型など）

2 顕在化している課題①

○ 指導の工夫

- ・ 男女ペアでの教え合い
→ 学びの深まり

○ 用具の工夫

- ・ 柔らかいボール、柔らかいバット
→ 苦手な生徒への配慮

2 顕在化している課題①

○ 技能の習得

高等学校学習指導要領

E 球技 入学年次 ゴール型 「知識及び技能」

ゴール型では、**安定したボール操作**と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。

2 顕在化している課題①

男女共習ができないと考える理由（例）

- ・ 男子が物足りないと感じる
- ・ 体力や技能に差があって指導が難しい
- ・ 男子が遠慮する、女子が萎縮する
- ・ 接触のある活動ができない（武道、ゴール型など）

できることから確実に取り組んでいく



生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現

第二部

- ・ 顕在化している課題から、「科目体育」の授業づくりを改めて問い直す【partⅡ】
- ・ 顕在化している課題から、「科目保健」の授業づくりを改めて問い直す

令和7年度高等学校教育課程研究員

愛知県立豊野高等学校

北村 剛

愛知県立三好高等学校

畑田 浩次

2 顕在化している課題①

主体的に学びに向かうことができない子供の存在

「主体的に学習に取り組む態度」に係る各教科等の評価の観点の趣旨に照らし、

① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた**粘り強い取組**を行おうとする側面と、

② ①の粘り強い取組を行う中で、**自らの学習を調整**しようとする側面、
という二つの側面を評価することが求められる。

2 顕在化している課題①

主体的に学びに向かうことができない子供の存在

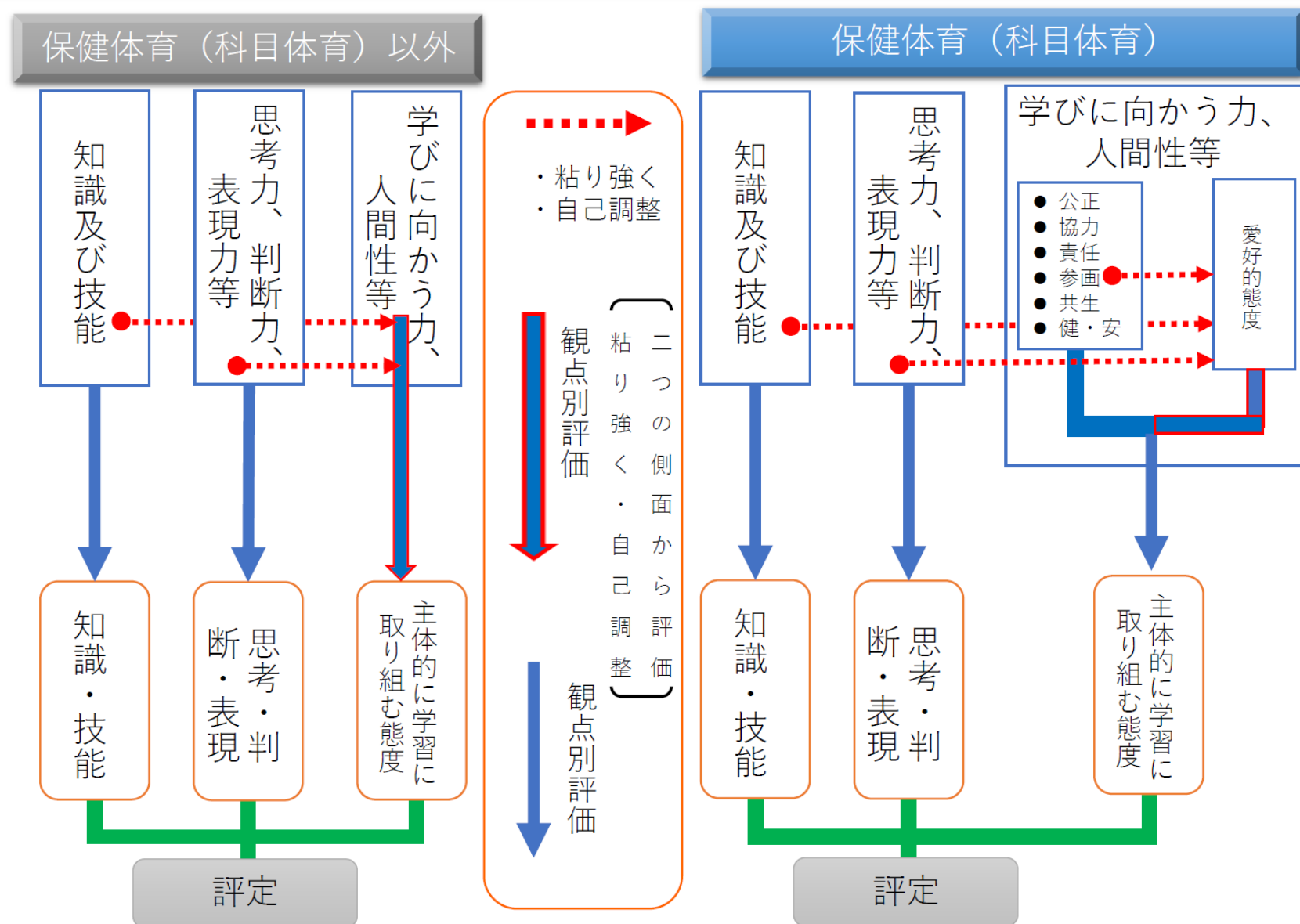
「主体的に
の観点の起

体育では、「学びに向かう力、人間性等（公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全）を涵養したり」が入る

① 知識等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、

② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、
という二つの側面を評価することが求められる。

2 顕在化している課題①



2 顕在化している課題②

顕在化している課題

① 学ぶ意義を見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供が多くなっている

② 現行学習指導要領の**理念**や**趣旨**の浸透は**道半ば**

③ GIGAスクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤の効果的な活用は緒に就いたばかり

2 顕在化している課題②

学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

習得した知識を現実の事象と関連付けて理解することに課題

概念としての知識の習得や深い意味理解をすることに課題

体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識を理解することにとどまらず、運動の実践及び生涯スポーツにつながる概念や法則などの汎用的な知識等の定着を図ることが重要である。

(解説 P 8)

体の動かし方や協力の仕方などの「どのように」行うのかといった具体的な知識だけではなく、その運動を支える原理や原則、意義などの「何のために」行うのかといった汎用的な知識を関連させて理解させた上で、学習場面に適用したり応用したりすることが大切である。

(解説 P 36)

2 顕在化している課題②

学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

習得した知識を現実の事象と関連付けて理解することに課題

概念としての知識の習得や深い意味理解をすることに課題

どのように行うか（具体的知識）

短距離走のスタートダッシュでは、徐々に上体を起こす。



何のために行うか（汎用的知識）

スタート時には重力を利用した推進力を得るために前傾姿勢を作り、中間走では地面に力を伝えやすくするために上体を起こす。

スタート時には重心位置を意識すればいいかもしれないな。



上体を起こすタイミングを考えながら取り組んでみよう。

2 顕在化している課題②

学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

習得した知識を現実の事象と関連付けて理解することに課題

概念としての知識の習得や深い意味理解をすることに課題

どのように行うか（具体的知識）

球技で、ルールやマナーを守り、相手のすばらしいプレイを認めたり相手を尊重したりするなどの行動を通してフェアなプレイを大切にしようとする。

何のために行うか（汎用的知識）

ルールやマナーを大切にすることは、スポーツの価値を高めるとともに、自己形成に役立つ。

ルールやマナーを大切にすることは、自己形成にも役立つのか。



球技だけでなく、他の種目の授業や実生活でもルールやマナーを大切にすることを意識しよう！

2 顕在化している課題②

学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

自分の考えを持ち、**根拠を持って明確に説明**することに課題

自己や仲間の考えたことを他者に伝えるとは、自己や仲間の課題について、課題解決の過程を踏まえて思考し判断したことを、**根拠を示したり**他者に配慮したりしながら、言葉や文章及び動作などで表したり、他者にわかりやすく伝えたりすること
(解説 P 3 1)

2 顕在化している課題②

学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

自分の考えを持ち、**根拠を持って明確に説明**することに課題

生徒が思考したり判断したりした内容について
根拠を示して表出できるような場面を設定

2人の間に来たボールは、2人で一緒に
ボールを追いかけた方がいいよね。

それじゃダメだと思う。

どうして？

2人で一緒にボールを追いかけてしま
うときに陣形が崩れて失点しているよ。

それなら、1人がボールを追いかけた時
は、もう1人が空いたスペースをカバー
するようにした方がいいね。



2 顕在化している課題②

学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

自分の考えを持ち、**根拠を持って明確に説明**することに課題

選択した理由や判断した根拠を記述
できるような学習カードの工夫

〈学習カードの例〉

ペアを組んだ仲間の課題	仲間へのアドバイス	アドバイスを考えた <u>根拠や理由</u>
【記述欄】 サービスが安定して入らない。	【記述欄】 トスを高く上げるとよい。	【記述欄】 トスが低いので、打点が低くなりネットにかかっていると思った。トスを高くすれば高い打点でサービスを打つことができるから。

2 顕在化している課題②

知識を基盤とした学習の充実

指導に際しては、**動きの獲得を通して一層知識の大切さを実感できるようにすることや知識を活用し課題を発見・解決する**などの「思考力，判断力，表現力等」を育む学習につながるよう，汎用性のある知識を精選した上で，知識を基盤とした学習の充実を図ることが大切である。

(解説 P115 他)

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編・体育編



資質・能力の三つの柱をバランスよく育成

2 顕在化している課題③

顕在化している課題

① 学ぶ意義を見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供が多くなっている

② 現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

③ GIGAスクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤の効果的な活用は緒に就いたばかり

2 顕在化している課題③

デジタル学習基盤の効果的な活用

デジタルの力でリアルな学びを支える

■単元の指導計画(10時間)

1時間

「オリエンテーション」

- ・授業の進め方、留意点、長距離走の走り方

2～3時間

「ストライドとピッチの違い」

- ・自己に適したペースの理解
- ・ストライドとピッチの切り替えを確認

4時間

「長距離走ラップ計算サイト」

- ・ペアで目標設定タイムの相違を確認

5時間

「記録にチャレンジ」

- ・チャレンジする記録を選択
- ・走る区間を決めて完走を目指す

6～7時間

「設定コースの完走」

- ・4つのコースの中から選択して完走を目指す

8～9時間

「クラス対抗戦」

10時間

「自由ランニング」

- ・単元の振り返り、クラス対抗戦結果発表

【学習活動の場面】

4段階のレベルの設定タイムの中から各グループで挑戦する記録を選択する。選択したレベルで、「グループで200mトラックを20周、走順や走る距離は自由に決める」というルールに基づき、走順と個人の走る距離を話し合って考える。教師からの「走る距離は個人の体力や技能を考慮すること」という指示を踏まえ、グループ内で自分の考えを提案する。

自分の考えやグループとしての考えをスプレッドシートに入力して共有し、他者の考えと比較しながらより良い方法を選択する。



2 顕在化している課題③

デジタル学習基盤の効果的な活用

デジタルの力でリアルな学びを支える

■指導上の工夫とICTの利活用

ランニングフォームを動画撮影し、見本と比較して理解を深める。

自己に適したピッチとストライドで走るために、自分のフォームを動画で確認する。映像をもとにグループで仲間の課題を伝え合うことで、自己の課題発見につながった。

クラウド上にある他のグループの考えを参照する。

グループ内で話し合い、グループとしての考え方をまとめる。その後、クラウド上の他のグループの中から参考になる考え方を確認することで、幅広い視点から解決方法を考えることができた。

【当該指導での「深い学び」】

クラウドを活用し、自分たちのグループで考えた課題解決方法を他のグループと比較することで、新たな課題を発見したり思考が深まったりすることにつながった。また、単元の前半で学習した長距離走に適した走り方に関する知識や技能を活用したり、既習の共生の態度である「一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする」ことを踏まえて提案したりすることで深い学びにつながった。

2 顕在化している課題③

デジタル学習基盤の効果的な活用

デジタルの力でリアルな学びを支える

「体育の学習を通して何を育てるのか」



I C Tの活用が

- ・ 深い学びにつながっているか
- ・ 資質・能力の育成に効果的か

という視点で考えることが重要

2 顕在化している課題③

デジタル学習基盤の効果的な活用

デジタルの力でリアルな学びを支える

運動の実践では、補助的手段として活用するとともに、効果的なソフトやプログラムの活用を図るなど、活動そのものの低下を招かないよう留意することが大切である。

(解説 P 2 2 6)

3 「科目保健」の授業づくりを改めて問い直す

顕在化している課題

① 学ぶ意義を見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供が多くなっている

② 現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

③ GIGAスクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤の効果的な活用は緒に就いたばかり

現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

② 現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

子供の社会参画
の意識



知識と現実の事象
を関連付けて理解



将来の夢を持つ
子供の割合



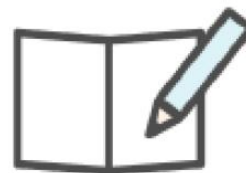
深い理解を伴う
知識の習得



自律的に学ぶ
自信



「自分の考え」
を書くこと



現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

知識と現実の事象
を関連付けて理解



深い理解を伴う
知識の習得



保健は子供が既に小中学校の学習や生活経験を
通して知っていることを取り扱うことが多いから、
授業が盛り上がらない。

例えば「生活習慣病などの予防と回復」の学習で
は、子供にとって喫緊の課題とは捉えられない
ことが多いので、なかなか現実の生活や行動と
関連付かない。

教科書を読んで、大事なところを丁寧に確認して
いるから、知識はしっかりと理解できているはず。

教科書の内容がたくさんあるので、どうしても時
間が足りなくなってしまう。

「保健体育科改訂の要点」から授業改善について問い直す

知識と現実の事象
を関連付けて理解



深い理解を伴う
知識の習得



体育科改訂の要点

「保健」においては、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができるよう、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に対応した目標、内容に改善すること。（解説p9）

現在及び将来の生活において、自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、その大切さについての認識を深めるとともに、健康に関する課題に対して保健の知識及び技能等を習得、活用して、自他の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりを目指して的確に思考、判断し、それらを表現することができるような資質・能力を育成することを目指している。ここには、健康・安全について科学的に理解することを通して、心身の健康の保持増進に関する内容を単に記憶としてとどめることなく、生徒が現在及び将来の生活において健康に関する課題に対して、科学的な思考と正しい判断の下に適切な意思決定・行動選択を行い、適切に実践していくための思考力、判断力、表現力等が含まれている。（解説p23-24）

「概念」としての知識の習得や深い意味理解

【概念】新たな病原体の出現等によって、新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られる。



感染症による疾病は、依然として死亡原因の1位です

令和4年の死因の1位は「悪性新生物(がん)」だよ。



正解は「悪性新生物(がん)」か。覚えておこう。



概念的な理解には至っていない

どのように学ぶか

新興感染症や再興感染症が流行してきた原因や死因の推移、社会の対策などが分かってきた。



概念的な理解へ

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について問い直す

指導計画の作成

単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。(高等学校学習指導要領 p139)

どのように学ぶか

新興感染症や再興感染症が流行してきた原因や死因の推移、社会の対策などが分かってきた。



学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」

例えば…

- ◆主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか
 - ◆対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか
 - ◆学びの深まりをつくり出すために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか
- といった視点で授業改善を進めることが求められる。

(解説p217)

デジタル学習基盤の効果的な活用

(事例：第2学年「健康を支える環境づくり（環境と健康）」)

■単元の指導計画（4時間）

第1時 大気汚染と健康

- ・大気汚染の原因と健康影響について理解する
- ・大気汚染の解決策について考える

第2時 水質汚濁・土壌汚染と健康

- ・水質汚濁や土壌汚染とその健康影響について考える
- ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわりについて考える

第3時 環境と健康に関わる対策

- ・環境汚染の防止とその対策について考える

第4時 ごみの処理と上下水道の整備

- ・循環型社会について考える
- ・循環型社会実現のために、日常生活でできることや社会的な対策について考える

【学習活動の場面】

我が国と臼杵市内のごみ処理の現状や上下水道の整備について理解した上で、循環型社会を目指し、日常生活でできることを考えることとした。グループワークを行う際、教師はクラウド上で共同編集できるシートを用意し、付箋機能を活用できるようにした。



食べ残しをしない

エコバッグを使う

みんなが参加しやすくなるようなキャンペーンを行う

循環型社会実現に向けて、日常生活でどのようなことができるだろうか？



動画貼り付け



①付箋機能を使って、グループの友達の考えをリアルタイムで共有し、それぞれの問題意識を深掘りしたり、お互いの考えを関連付けたりする活動を位置付ける。

* 端末を使って思考の一部をリアルタイムで可視化することにより、その根拠を聞き合う活動が可能になる。また、それぞれが考えた個人の取組や社会的な対策を関連付けたり、統合して総合的な取組としてブラッシュアップしたりすることも可能になる。

②グループで議論した内容を動画に撮って発表する活動を位置付ける。

* 他者の考えを聞き、議論しながら環境衛生に関わる問題点や対策などについて総合的に改善の方策を考えていくとともに、その結果を表現できる場面を創出することが可能になる。

【当該指導での「深い学び」】

それぞれの生徒が考えたことの一部を付箋機能を使って表現できるようにするとともに、グループワークでリアルタイムに共有することで、一人一人の問題意識を深掘りしたり、お互いの考えを関連付けたりしながら、総合的にごみを減らすための個人や社会でできる対策を考えることができた。

高等学校における「保健の見方・考え方」

保健の見方・考え方

保健の見方・考え方については、疾病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「**個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること**」であると考えられる。(解説p22)

どのように学ぶか

新興感染症や再興感染症が流行してきた原因や死因の推移、社会の対策などが分かってきた。



学びの深まりの鍵となるのが「**見方・考え方**」

(略)保健に関わる原則や概念を根拠としたり活用したりして、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、さらには健康を支える環境づくりと**関連付けて**、情報選択や課題解決に主体的、**協働的**に取り組むことができるようにすることが必要である。保健の見方・考え方にはそのような意図が込められている。(解説p23)

保健に関わる「原則」や「概念」に 着目できているか？

(略)保健に関わる**原則**や**概念**を根拠としたり活用したりして、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、さらには健康を支える環境づくりと関連付けて、情報選択や課題解決に主体的、協働的に取り組むことができるようにすることが必要である。保健の見方・考え方にはそのような意図が込められている。(解説p23)

生活習慣病などの**予防**と**回復**には、**個人の取組**とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など**社会的な対策が必要**であること

安全な社会の形成には、法的な整備などの**環境の整備**、環境や状況に応じた適切な行動などの**個人の取組**、及び**地域の連携**などが必要であること

感染症は、時代や地域によって**自然環境**や**社会環境**の影響を受け、**発生や流行に違い**が見られること

自他の健康を保持増進するには、**ヘルスプロモーション**の考え方に基づいた、**健康に関する環境づくり**が重要であること

「健康についての自他や社会の課題を発見する」学習過程は位置付いているか？

(略)保健に関わる原則や概念を根拠としたり活用したりして、**疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上**、さらには**健康を支える環境づくり**と関連付けて、情報選択や課題解決に主体的、協働的に取り組むことができるようにすることが必要である。保健の見方・考え方にはそのような意図が込められている。(解説p23)

安全な社会の形成には、法的な整備などの**環境の整備**、環境や状況に応じた適切な行動などの**個人の取組**、及び**地域の連携**などが必要であること

事故の発生をできるだけ防止(**リスクを軽減**)するためには？

事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの**人的要因**、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの**環境要因**などが**関連**していること

保健の見方・考え方を働かせているイメージ

「健康についての自他や社会の課題を発見する」学習過程は位置付いているか？

指導計画の作成

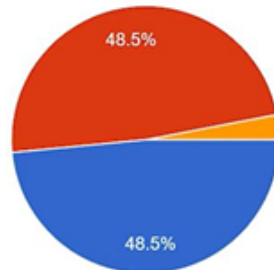
単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。(高等学校学習指導要領 p139)

例えば…

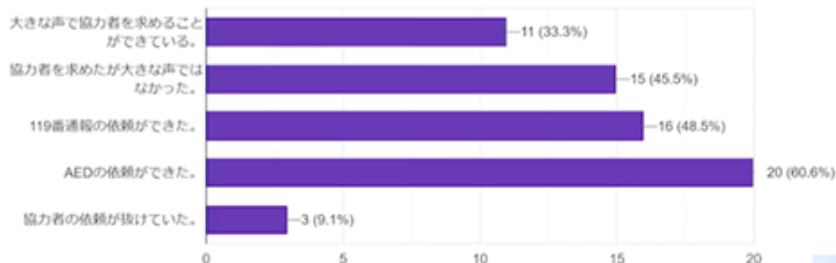


② 前時の実習での課題を確認

2. 反応（意識）の確認はできていますか？
33 件の回答



3. 協力者の依頼はできましたか？
33 件の回答



前回は、反応（意識）の確認はできたけど、協力者への依頼はうまくできなかったかもしれない。一人で全て行うのは難しかった。

複数人数で対処するメリットをもっと生かすには、どのようにすればいいかな？